

国土数値情報（土地利用細分メッシュ）

製品仕様書

第 1.1 版

平成 19 年 3 月

国土交通省国土計画局

目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	2
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	4
1.7 参考資料.....	4
2 適用範囲.....	5
2.1 適用範囲識別.....	5
2.2 階層レベル.....	5
3 データ製品識別.....	6
3.1 製品仕様識別.....	6
4 データ内容および構造.....	7
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	7
4.1.1 国土数値情報パッケージ.....	7
4.1.2 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	8
4.1.3 国土数値情報データ集合パッケージ.....	9
4.1.4 土地関連パッケージ.....	11
4.1.5 土地利用細分メッシュパッケージ.....	12
4.1.6 共通パッケージ.....	15
4.2 空間スキーマプロファイル.....	16
4.3 時間スキーマプロファイル.....	16
5 参照系.....	17
5.1 座標参照系.....	17
5.2 時間参照系.....	17
6 データ品質.....	18
7 データ製品配布.....	23
7.1 配布書式情報.....	23
7.2 配布媒体情報.....	23
8 メタデータ.....	24
付属資料	
1 符合化仕様作成のためのタグ一覧.....	1
2 符合化仕様.....	2

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名： 国土数値情報（土地利用細分メッシュ）製品仕様書
第 1.1 版
- 日付：平成 19 年 03 月 23 日
- 作成者：国土交通省 国土計画局 総務課 国土情報整備室
- 言語：日本語
- 分野：土地台帳計画
- 文書書式：PDF

1.2 目的

本製品仕様書は、地理情報標準プロファイル（JPGIS）第 1.0 版に可能な限り準拠した国土数値情報データを構築することを目的とする。

本製品仕様書に基づく空間データ製品は、全国規模の土地利用状況を整備し、各種計画の作成等に資することを目的とする。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
日本全国
- 時間範囲
2006 年度から本製品仕様書に基づき作成されるデータの作成年度まで

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版 平成 17 年 01 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版「附属書 5 (規定) 定義」

- 国土計画局 GIS 関連サイト 用語集

本データにおける土地利用種別は、以下に定める 11 区分とする。

- ・ 田 : 湿田・乾田・沼田・蓮田及び田とする。
- ・ その他の農用地 : 麦・陸稲・野菜・草地・芝地りんご・梨・桃・ブドウ・茶・桐はぜ・こうぞ・しゅろ等を栽培する土地とする。
- ・ 森林 : 多年生植物の密生している地域とする。
- ・ 荒地 : しの地・荒地・がけ・岩・万年雪・湿地・採鉱地等で旧土地利用データが荒地であるところとする。
- ・ 建物用地 : 住宅地・市街地等で建物が密集しているところとする。
- ・ 幹線交通用地 : 道路・鉄道・操車場などで、面的に捉えられるものとする。
- ・ その他の用地 : 運動競技場、空港、競馬場・野球場・学校港湾地区・人工造成地の空地等とする。
- ・ 河川地及び湖沼 : 人工湖・自然湖・池・養魚場等で平水時に常に水を湛えているところ及び河川・河川区域の河川敷とする。
- ・ 海浜 : 海岸に接する砂、れき、岩の区域とする。
- ・ 海水域 : 隠顕岩、干潟、シーパースも海に含める。
- ・ ゴルフ場 : ゴルフ場のゴルフコースの集まっている部分のフェアウェイ及びラフの外側と森林の境目を境界とする。

また、整備期間中におけるデータについては、一時的な分類区分として以下を定める。

- ・ 解析範囲外 : 原典資料 (衛星画像データ) の未整備区域、及び作業対象ではない区域とする。

土地利用メッシュデータは、S51、S62、H3、H9の4時期分のデータが整備されており、その種別は、S51では15区分であったが、項目の統合と定義の簡略化を行い、H3以降、現在の11区分が採用されている。参考として、下表に新旧の土地利用種別の対応を示す。

(参考) 新旧土地利用種別の対応

種別名(現在) (H3, H9)	種別名(旧) (S62)	種別名(旧) (S51)	細区分	細区分定義
田	田	田	田	湿田・乾田・沼田・蓮田、及び田をいい、季節により畑作物を栽培するものを含む。
その他の農用地	畑 果樹園 その他の樹木畑	畑 果樹園 その他の樹木畑	畑	麦・陸稻・野菜などを栽培する土地をいい、牧草を栽培する草地、芝地等を含む。
			空地(一部)	家屋周辺の樹木その他の植物の存しない土地。 (明確に空地と判断できるものは畑としない)
			果樹園	りんご・梨・桃・ブドウなどの果樹を栽培する土地。
			桑畑・茶畑 その他の樹木	桑または茶を栽培している土地。 桐・はぜ・こうぞ・しゅろ等を栽培する土地及び植木畑。
森林	森林	森林	広葉樹木	高さ2m以上の多年生植物の密生している地域。ただし、植林地帯等においては、樹高が2m未満であっても森林とする。
			針葉樹林	
			竹	
			しゅろ科樹林	
荒地	荒地	荒地	はい松地	はい松またはほわい松の育成している土地。
			しの地	高さ2m以下の竹、笹の密生している土地。
			荒地	雑草地、裸地等をいい、湿地・沼地等で水草が点々と生えている地域を含む。
			がけ(土・岩)	土砂の崩壊等によって出来た急斜面をいい、人工的に作られた急斜面を含む。
			岩	その一部を地表に露出する岩石及び地上に散在する岩石等
			万年雪	平年なみの気候状態にあつて積雪が残雪もしくは氷塊越冬するもの
			湿地	常に水を含んだじめじめした土地で雨期には水をたたえるところをいい、沼地等を含む。
探鉱地	現に鉱物を探掘している場所。			
建物用地	建物用地	建物用地(A)	総描建物	住宅街、市街地などで建物が密集していて個々の区別がつきにくい場合、これを総描して表示した建物。
			独立建物(大)	工場・学校など個々の区別がつけられるもの又は区別する必要のある建物(長辺50m以上)。
			高層建物	3階以上の独立建物
			住宅団地	住宅団地(長辺50m以上)は街区全域を計上。
		建物用地(B)	建物類似の構造物	飛行場の格納庫・倉庫・市場・競技場の観覧席・畜舎・温室・側壁のない建物・鉄道道路の雪おおい場等の建物。
			独立建物(小)	長辺50m以下の独立建物。
			2戸以上の家屋	2戸以上の独立建物(小)が近接(相互間隔13m未満)しているときは、総描して計上する。
樹木に囲まれた住宅地	建物及びその周囲にある防風林、屋敷森等を含む地区で他の地区と区別できる地域。			
幹線交通用地	幹線交通用地	幹線交通用地	鉄道	鉄道・駅舎・操車場・側線等の鉄道に関する用地。
			道路	市員11m以上の記号道・市員25m以上の真幅道路、幹線道路に付随のインターチェンジ・駐車場等の用地。
その他の用地	その他の用地	その他の用地	空地	屋敷の周辺の樹木、その他の植物などの存しない土地をいい、学校や工場の敷地、港湾地区、人工造成地等の空地を含む。
			その他	運動競技場、空港、競馬場、野球場等の特定地区で建物及び水部を除く部分。
河川地及び湖沼	河川地及び湖沼	湖沼	湖沼・池	自然湖、人工湖、池、養魚場等で平水時において常に水をたたえているところ(河川区域内の人工湖は含まない)。
			河川敷(人工利用地は除く)	河川区域の河川敷(低水・高水敷、堤防、河川管理施設等)及び地形図による河川敷、人工利用地は含まない。
		河川敷内の人工利用地	河川敷内にある「田」、「畑」、「果樹園」、「その他の樹木畑」、「建物用地(A)」、「建物用地(B)」である区域及び「その他の用地」のうち荒地及び用途が判定できない空き地を除く区域。	
海浜	海浜	海浜	海浜	海岸に接する砂、れき、岩の区域。
海水域	海水域	海水域	海水域	隠頭岩、干潟は海水域、海水域の水面利用もシーバースも含める。
ゴルフ場	—	—	—	—

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス（JPGIS 準拠データ）

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj2/index.html>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（土地利用細分メッシュ）製品仕様書第 1.1 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

■ 空間データ製品の名称

国土数値情報（土地利用細分メッシュ）データ

■ 日付

平成 19 年 3 月 23 日

■ 問合せ先

国土交通省 国土計画局 総務課 国土情報整備室

電話 : 03-5253-8111 FAX : 03-5253-1569

Email : nsdijp@mlit.go.jp

■ 地理記述

全国

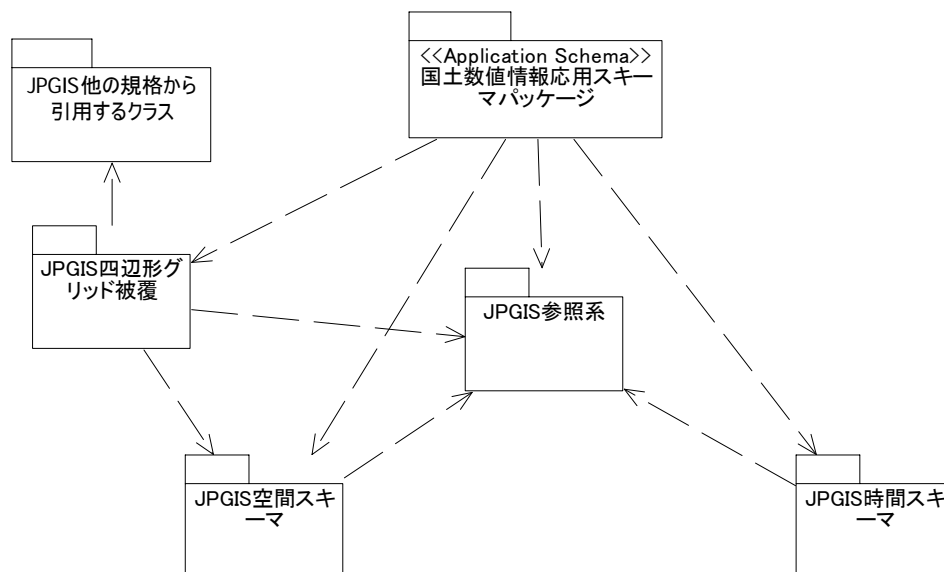
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

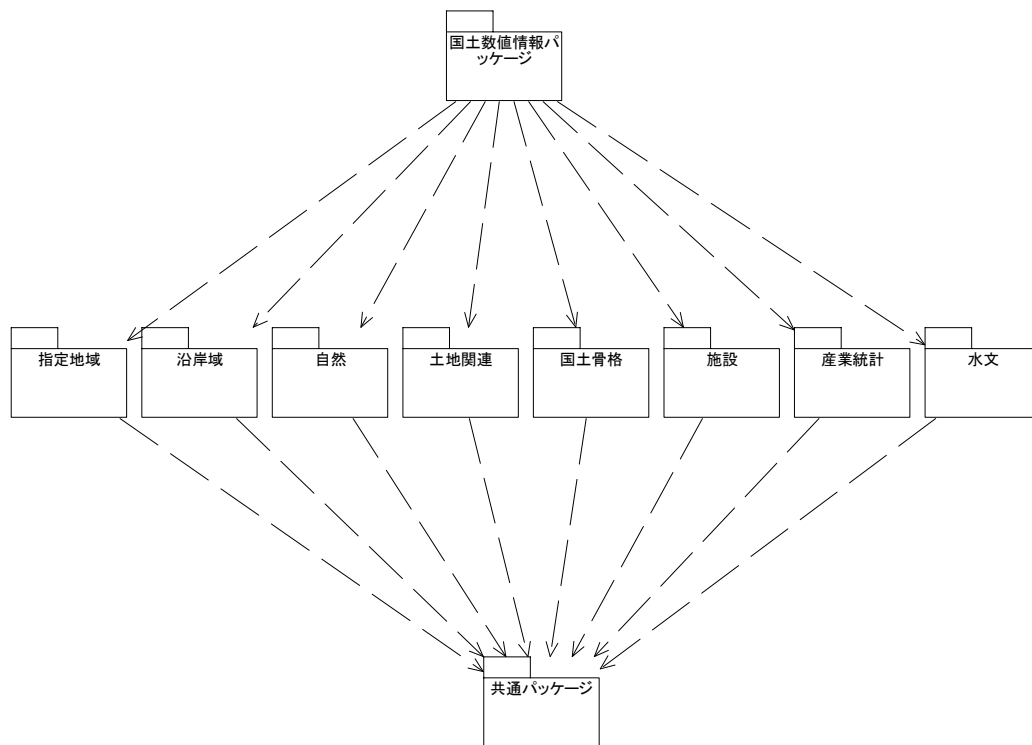
4.1.1 国土数値情報パッケージ

このパッケージは、国土数値情報のパッケージ構成をまとめたものである。国土数値情報応用スキーマで使用する JPGIS の型に関するパッケージと国土数値情報応用スキーマパッケージの依存関係を示す。



4.1.2 国土数値情報応用スキーマパッケージ

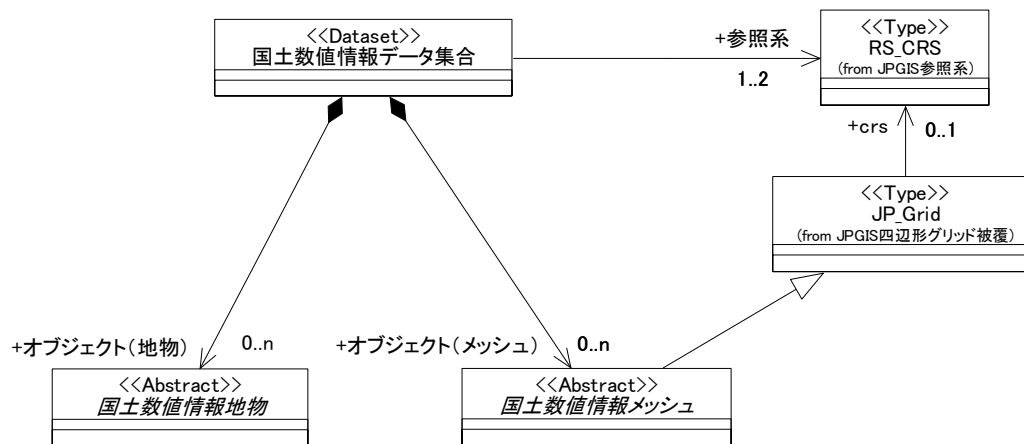
このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報データ集合パッケージおよび、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.3 国土数値情報データ集合パッケージ

このパッケージは、国土数値情報データ応用スキーマに含まれる全ての地物およびメッシュをまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図



4.1.3.2 応用スキーマ文書

国土数値情報データ集合

1 つ以上の国土数値情報地物あるいは国土数値情報メッシュから構成される国土数値情報のデータセット。

上位クラス：なし

抽象/具象区分：具象

関連役割：

参照系[1..2]：RS_CRS

座標参照系および時間参照系への参照。座標参照系については必ず記載する。

オブジェクト（地物）[0..n]：国土数値情報地物

国土数値情報データ集合を構成する国土数値情報地物。

オブジェクト（メッシュ）[0..n]：国土数値情報メッシュ

国土数値情報データ集合を構成する国土数値情報メッシュ。

国土数値情報地物

国土交通省国土計画局総務課国土情報整備室が提供する国土数値情報ベクトルデータ項目。

上位クラス：なし

抽象/具象区分：抽象

国土数値情報メッシュ

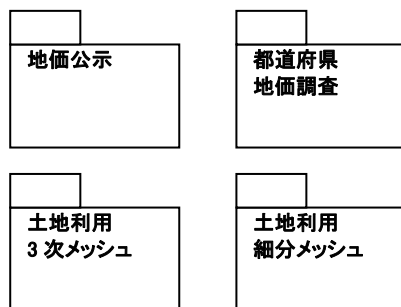
国土交通省国土計画局総務課国土情報整備室が提供する国土数値情報メッシュデータ項目。

上位クラス：JP_Grid

抽象/具象区分：抽象

4.1.4 土地関連パッケージ

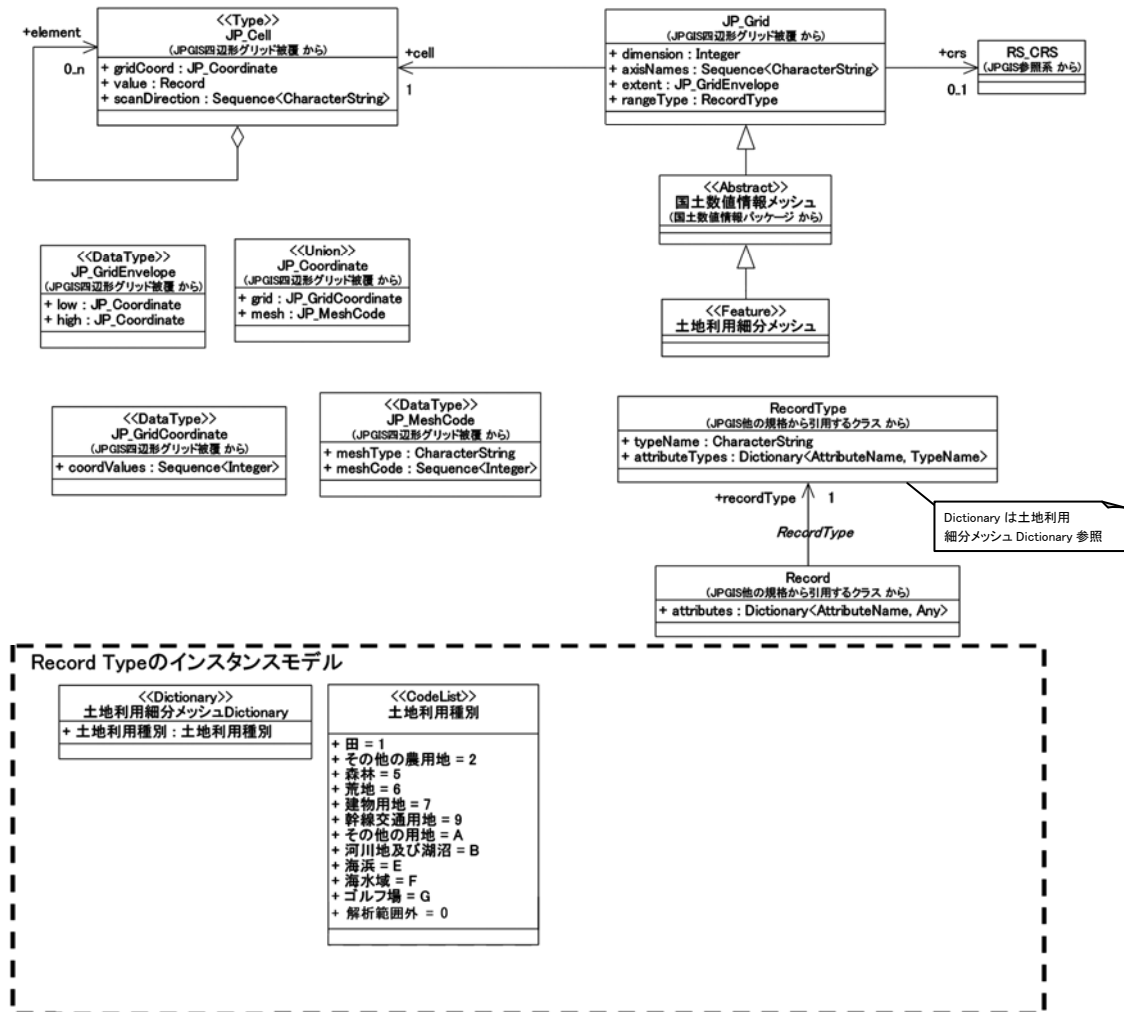
このパッケージは、地価公示パッケージ、都道府県地価調査パッケージ、土地利用 3 次メッシュパッケージ、土地利用細分メッシュパッケージ等、土地に関するパッケージをまとめたものである。



4.1.5 土地利用細分メッシュパッケージ

このパッケージは、土地利用細分メッシュに関する内容をまとめたものである。

4.1.5.1 応用スキーマクラス図



4.1.5.2 応用スキーマ文書

土地利用細分メッシュ

100m (1/10 細分) メッシュ単位で、地図記号や衛星画像の色調から 11 種類の項目に分類した土地利用状況。

上位クラス：国土数値情報メッシュ

抽象/具象区分：具象

属性

[上位型から継承する属性] dimension : Integer

四辺形グリッド被覆の座標次元

[上位型から継承する属性] axisNames : Sequence<CharacterString>

四辺形グリッド被覆の座標軸の名称

[上位型から継承する属性] extent [0..1] : JP_GridEnvelope

四辺形グリッド被覆の外側境界の範囲。任意の属性である。

[上位型から継承する属性] rangeType : RecordType = {<属性名 : データ型>}

四辺形グリッド被覆の値域。データ型 RecordType は、属性名とデータ型の対のリストで構成する。

土地利用種別：土地利用種別

当該メッシュにおける土地利用種別。

■ 定義域

「土地利用種別」がとりうる値。

➤ コードリスト「土地利用種別」の内容

コード	対応する内容
1	田
2	その他の農用地
5	森林
6	荒地
7	建物用地
9	幹線交通用地
A	その他の用地
B	河川地及び湖沼
E	海浜
F	海水域
G	ゴルフ場
0	解析範囲外

関連役割：

[上位型から継承する属性] cell : JP_Cell

JP_Grid から、グリッド被覆の最も大きい単位となるグリッドセル (JP_Cell) への
関連

[上位型から継承する属性] crs [0..1] : RS_CRs

JP_Grid からグリッド座標参照系への関連

4.1.6 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

本製品仕様書に関係のあるコードリストは以下のとおり。

- ・土地利用種別

コードリストについては、本製品仕様書「1.7 参考資料」の参照先を参照。

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 1.0 版 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子： TD/(B,L)
及び
JGD2000/(B,L)

5.2 時間参照系

参照系識別子： GC/JST

6 データ品質

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	土地利用細分メッシュ
データ品質評価尺度	過剰なデータを含むファイルの割合（誤率）を計算する。 誤率（％） ＝ {(不正なデータを含むファイル数) / (全ファイル数)} × 100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 ①ファイル内に重複する 100m メッシュのレコードが存在しないかを検査プログラムによって評価する。 ②1箇所でも不正が認められた場合、そのファイルは不正とする。 ③データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ④計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 誤率＝0% であれば “合格” 誤率＞0% であれば “不合格”
適合品質水準	誤率＝0%

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	土地利用細分メッシュ
データ品質評価尺度	データが欠落したファイルの割合（誤率）を計算する。 誤率（％） ＝ {(不正なデータを含むファイル数) / (全ファイル数)} × 100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 ①対象地域の 100m メッシュのうち、ファイル内に存在しないものがないかを検査プログラムによって評価する。 ②1箇所でも不正が認められた場合、そのファイルは不正とする。 ③データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ④計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 誤率＝0% であれば “合格” 誤率＞0% であれば “不合格”
適合品質水準	誤率＝0%

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	土地利用細分メッシュ
データ品質評価尺度	<p>書式（フォーマット）が不正なファイルの割合（誤率）を計算する。</p> <p>■土地利用細分メッシュデータの書式は、1次メッシュ単位のJPGIS準拠形式でなければならない。</p> <p>■誤率は、正しい書式のファイルに対する不正な書式のファイルの割合を百分率で表示する。</p> <p>誤率（%）</p> $= \{(\text{不正な書式のファイル数}) / (\text{全ファイル数})\} \times 100$
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>①XMLの文法に従っているかを評価する。</p> <p>②データ品質評価尺度の定義に基づき、誤率を計算する。</p> <p>③計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p> <p>誤率=0% であれば “合格”</p> <p>誤率>0% であれば “不合格”</p>
適合品質水準	誤率=0%

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	土地利用細分メッシュ
データ品質評価尺度	<p>JPGIS準拠形式のデータについて、応用スキーマ規則を遵守していないファイルの割合（誤率）を計算する。</p> <p>誤率（%）</p> $= \{(\text{不正な書式のファイル数}) / (\text{全ファイル数})\} \times 100$
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>①応用スキーマで定められていないタグがデータ集合に存在していないか、また、地物同士の関係が応用スキーマと矛盾しないかを評価する。</p> <p>②データ品質評価尺度の定義に基づき、誤率を計算する。</p> <p>③計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p> <p>誤率=0% であれば “合格”</p> <p>誤率>0% であれば “不合格”</p>
適合品質水準	誤率=0%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	土地利用細分メッシュ
データ品質評価尺度	定義域の範囲に含まれていない属性値を持つファイルの割合（誤率）を計算する。 誤率（％）＝ $\{(\text{不正な属性値を持つファイル数}) / (\text{全ファイル数})\} \times 100$
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 ①属性の値が、定義域の中にあるか、検査プログラムによって評価する。 ②1箇所でも不正が認められた場合、そのファイルは不正とする。 ③データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ④計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 誤率＝0％ であれば “合格” 誤率＞0％ であれば “不合格”
適合品質水準	誤率＝0％

品質要素	主題正確度・分類の正しさ
データ品質適用範囲	土地利用細分メッシュ
データ品質評価尺度	<p>属性値毎に参照データ（数値地図 25000（地図画像）・元の衛星オルソ画像）と比較して、過剰に抽出されているエラー領域の面積率（誤率）を計算する。</p> <p>■旧土地利用から更新が行われた箇所を検査対象とする。</p> <p>■参照データ（数値地図 25000（地図画像）・元の衛星オルソ画像）と適合しない場合、その領域をエラー領域とする。</p> <p>■誤率は、検査対象領域の面積に対するエラー領域の面積率を百分率で表示する。</p> <p>誤率（％）＝</p> $\left\{ \frac{\text{エラー領域の面積}}{\text{検査対象領域の総面積}} \right\} \times 100$
データ品質評価手法	<p>抜取検査を実施する。</p> <p>①土地利用細分メッシュデータの間接成果である更新箇所データにおいて、旧土地利用から変化した更新箇所の領域を抽出する。この領域を検査対象とする。</p> <p>②個々の更新箇所について、参照データ（数値地図 25000（地図画像）・元の衛星オルソ画像）を再判読し、更新状況との適合を判断する。</p> <p>③品質評価尺度の定義に基づき、誤率を計算する。</p> <p>④計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p> <p style="text-align: center;">誤率＝0％ であれば “合格”</p> <p style="text-align: center;">誤率＞0％ であれば “不合格”</p>
適合品質水準	誤率＝0%

品質要素	主題正確度・分類の正しさ
データ品質適用範囲	土地利用細分メッシュ
データ品質評価尺度	<p>属性値毎に参照データ（数値地図 25000（地図画像）・元の衛星オルソ画像）と比較して、正しく抽出されていないエラー領域の面積率（誤率）を計算する。</p> <p>■旧土地利用が緑地系の土地利用項目のうち、100m にメッシュ化した衛星オルソ画像の輝度値のばらつきから推測される更新候補領域で、更新が行われなかった箇所を検査対象とする。</p> <p>■参照データ（数値地図 25000（地図画像）・元の衛星オルソ画像）と適合しない場合、その領域をエラー領域とする。</p> <p>■誤率は、検査対象領域の面積に対するエラー領域の面積率を百分率で表示する。</p> <p>誤率（％）＝</p>

	{(エラー領域の面積) / (検査対象領域の総面積)} × 100
データ品質評価手法	<p>抜取検査を実施する。</p> <p>①土地利用細分メッシュデータにおいて、旧土地利用が緑地系の土地利用項目（「田」「その他の農用地」「森林」「荒地」）である各項目で、土地利用の更新が行われなかったメッシュ領域を抽出する。</p> <p>②参照データである元の衛星オルソ画像を 100m メッシュ化し、旧土地利用の各項目のメッシュ領域における観測輝度値の統計量（μ：平均値、σ：標準偏差）をバンド毎（Band1～Band3）に算出する。</p> <p>③各項目のメッシュ領域の 100m メッシュ衛星オルソ画像において、σ で正規化した Band1～Band3 の 3次元スペクトル空間における平均値からの距離 d を画素単位で計算する。</p> $d^2 = \sum \{ (X_n - \mu_n) / \sigma_n \}^2$ <p>（X_n はメッシュ毎の観測値 n は次元（1～3））</p> <p>④d が閾値 k 以内に含まれないメッシュ（$d > k$）を抽出する。このとき、k の値はここで抽出されるメッシュ数が、各項目のメッシュ領域において土地利用の更新が行われたメッシュ数（旧土地利用データの全メッシュから①で抽出したメッシュを引いたメッシュ数）とほぼ同数になるような値を任意で設定する。ここで抽出されるメッシュ領域を、衛星画像の輝度値のばらつきから推測される更新候補メッシュ領域とする。</p> <p>⑤①と④の両方に該当するメッシュ領域を検査対象（各項目における更新漏れの可能性があるメッシュ領域）として、参照データ（数値地図 25000（地図画像）・元の衛星オルソ画像）を再判読し、更新漏れの有無を判断する。</p> <p>⑥品質評価尺度の定義に基づき、誤率を計算する。</p> <p>⑦計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p> <p>誤率=0% であれば “合格”</p> <p>誤率>0% であれば “不合格”</p>
適合品質水準	誤率=0%

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 1.0 版 附属書 8 (参考) XML に基づく符号化規則

■ 符合化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 1.0 版 附属書 8 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、JPGIS 附属書 8 に掲載されている XML Schema を採用する。

国土数値情報（土地利用 3 次メッシュ）応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、符合化仕様の詳細については付属資料を参照のこと。

名前空間 : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞 : ksj

名前空間 (コードリスト) : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app-cd>

名前空間接頭辞 (コードリスト) : ksjc

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語

7.2 配布媒体情報

■ 単位

1 次メッシュ

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj2/index.html>

8 メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、**JMP2.0**を採用する。

国土数値情報（土地利用細分メッシュ）製品仕様書 第1.1版

付属資料

1 符合化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
国土数値情報データ集合パッケージ					
	国土数値情報データ集合			AA01	—
		参照系	RS_CRG	RES	reference system
		オブジェクト(地物)	国土数値情報地物	OBJ	object
		オブジェクト(メッシュ)	国土数値情報メッシュ	OBJ-m	object
	国土数値情報地物			AA02	—
	国土数値情報メッシュ			mAA02	—
土地関連パッケージ					
	土地利用細分メッシュパッケージ				
	土地利用細分メッシュ			mEB01	

2 符合化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xs:schema targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:xlink="http://www.w3.org/1999/xlink"
xmlns:jps="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"
xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:xs="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" elementFormDefault="unqualified"
attributeFormDefault="unqualified">
  <xs:annotation>
    <xs:appinfo>KsjAppSchema-L03-b-v1_0.xsd </xs:appinfo>
    <xs:documentation>国土数値情報(土地利用細分メッシュ)第1.1版応用スキーマのXMLスキーマ文書
</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:import namespace="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"
schemaLocation="jpsRoot.xsd"/>
  <xs:import namespace="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"
schemaLocation="jpsGrid.xsd"/>
  <xs:import namespace="http://www.w3.org/1999/xlink" schemaLocation="xlinks.xsd"/>
  <!-- GI -->
  <xs:element name="GI">
    <xs:complexType>
      <xs:sequence>
        <xs:element name="exchangeMetadata" type="jps:ExchangeMetadata" minOccurs="0"/>
        <xs:element name="dataset" type="ksj:Dataset" minOccurs="0"/>
      </xs:sequence>
      <xs:attribute name="version" type="jps:CharacterString" use="required" fixed="1.0"/>
      <xs:attribute name="timeStamp" type="jps:DateTime" use="required"/>
    </xs:complexType>
  </xs:element>
  <xs:complexType name="Dataset">
    <xs:sequence>
      <xs:element name="crs" type="jps:ref_RS_CRS" minOccurs="0" maxOccurs="2"/>
      <xs:element ref="ksj:object"/>
    </xs:sequence>
  </xs:complexType>
  <xs:element name="object">
    <xs:complexType>
      <xs:group ref="ksj:Object" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
      <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
    </xs:complexType>
  </xs:element>
  <xs:group name="Object">
    <xs:sequence>
      <xs:any namespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app
http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"/>
    </xs:sequence>
  </xs:group>
```

```

<!-- ===== -->
<!--          データ集合、国土数値情報地物、国土数値情報メッシュ          -->
<!-- ===== -->
<!-- =====国土数値情報データ集合パッケージ===== -->
<!-- 国土数値情報データ集合 -->
<xs:element name="AA01" type="ksj:AA01"/>
<xs:complexType name="AA01">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="jps:IM_Object">
      <xs:sequence>
        <xs:element ref="ksj:RES" minOccurs="1" maxOccurs="2"/>
        <xs:element ref="ksj:OBJ" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
        <xs:element ref="ksj:OBJ-m" minOccurs="0" maxOccurs="unbounded"/>
      </xs:sequence>
    </xs:extension>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<xs:element name="RES" type="jps:ref_RS_CRS"/>
<xs:element name="OBJ">
  <xs:complexType>
    <xs:annotation>
      <xs:documentation>国土数値情報データ集合の地物への関連</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:choice maxOccurs="unbounded">
      <xs:any namespace="http://nftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app
http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"/>
    </xs:choice>
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
  </xs:complexType>
</xs:element>
<xs:element name="OBJ-m">
  <xs:complexType>
    <xs:annotation>
      <xs:documentation>国土数値情報データ集合のメッシュへの関連</xs:documentation>
    </xs:annotation>
    <xs:choice maxOccurs="unbounded">
      <xs:any namespace="http://nftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app
http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas"/>
    </xs:choice>
    <xs:attributeGroup ref="jps:IM_ObjectReference"/>
  </xs:complexType>
</xs:element>
<!-- 国土数値情報地物 -->
<xs:element name="AA02" type="ksj:AA02" abstract="true"/>
<xs:complexType name="AA02" abstract="true">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="jps:IM_Object"/>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
<!-- 国土数値情報メッシュ -->
<xs:element name="mAA02" type="ksj:mAA02" abstract="true" substitutionGroup="jps:JP_Grid"/>
<xs:complexType name="mAA02" abstract="true">
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="jps:JP_Grid"/>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>

```

```
</xs:complexContent>
</xs:complexType>

<!-- =====土地関連パッケージ===== -->
<!-- 土地利用細分メッシュ -->
<xs:complexType name="mEB01">
  <xs:annotation>
    <xs:documentation>type of 土地利用細分メッシュ</xs:documentation>
  </xs:annotation>
  <xs:complexContent>
    <xs:extension base="ksj:mAA02"/>
  </xs:complexContent>
</xs:complexType>
```